

報道機関各位

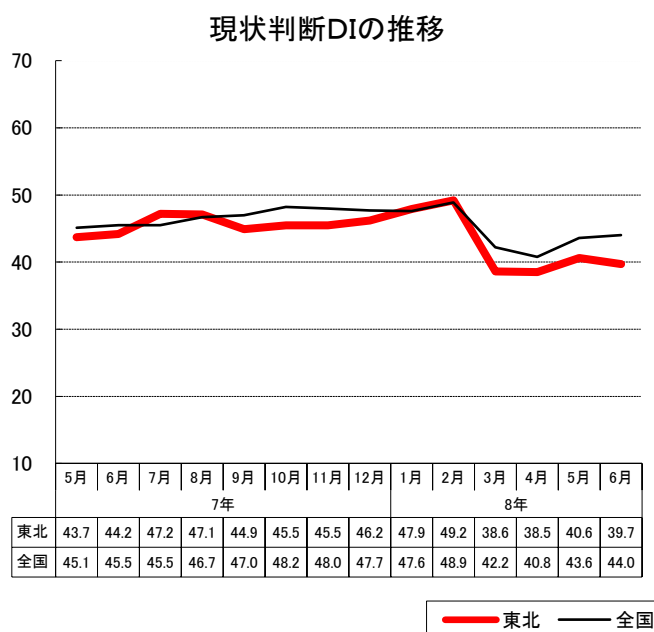
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和8年6月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター(会長:樋口 康二郎 東北電力株式会社 代表取締役会長)は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和8年6月 東北分(東北6県)」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

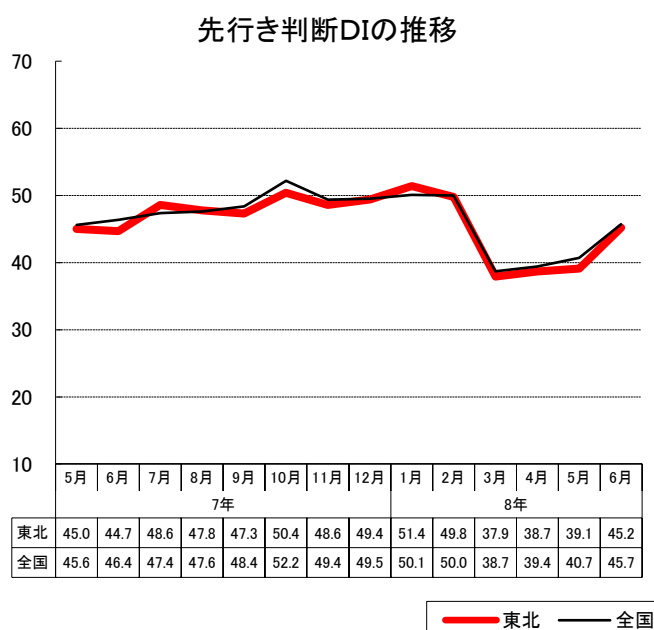
(1) 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「39.7」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲0.9ポイント低下した。



(2) 先行き判断(2～3か月先の見通し、方向性)

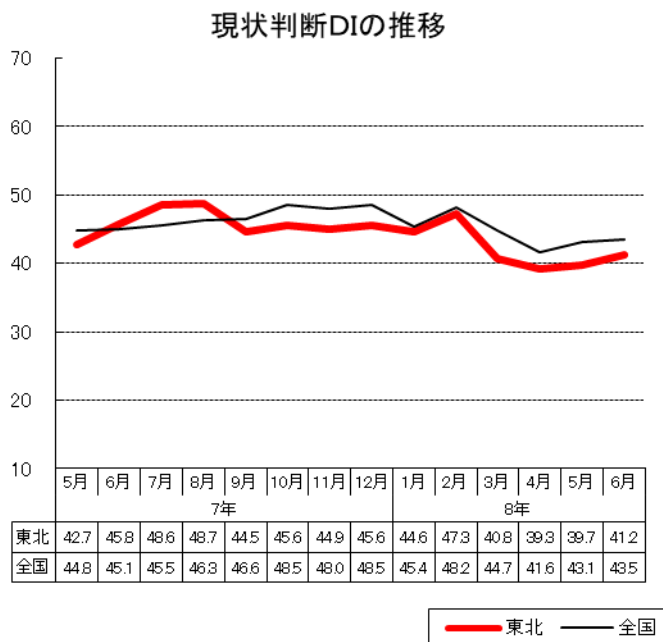
先行き判断DIは「45.2」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+6.1ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「41.2」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.5ポイント上昇した。



○家計動向関連…一般小売店、コンビニ、旅行代理店等の業種でDIが前月を上回ったが、家電量販店、スーパー、その他サービスの動向を把握できる者等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「40.4」(▲0.4)と、2か月ぶりで前月を下回った。

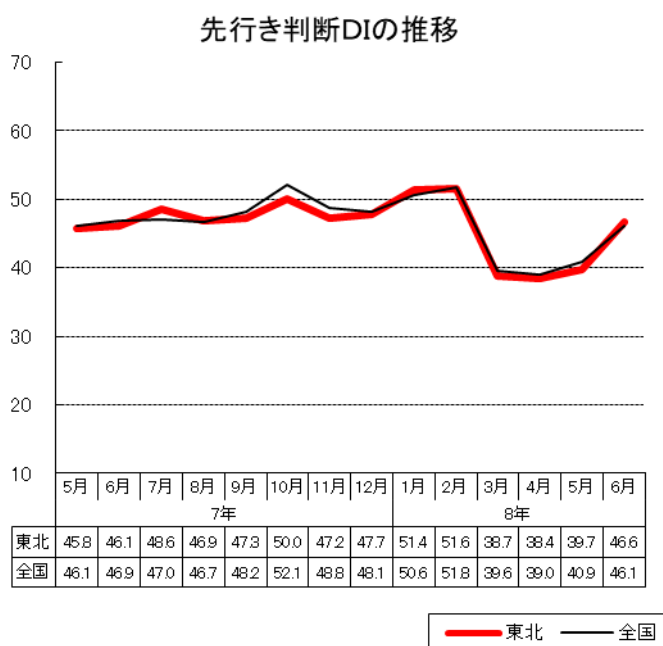
○企業動向関連…食料品製造業等の業種でDIが前月を下回ったが、輸送用機械器具製造業、木材木製品製造業、その他非製造業[飲食料品卸売業]等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「46.6」(+7.1)と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「35.5」(+2.6)と、2か月ぶりに前月を上回った。

(2) 先行き判断(2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「46.6」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+6.9ポイント上昇した。



○家計動向関連…その他住宅投資の動向を把握できる者等の業種でDIが前月を下回ったが、都市型ホテル、家電量販店、一般小売店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「45.4」(+4.8)と、2か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…農林水産業、一般機械器具製造業、その他企業の動向を把握できる者等の業種でDIが前月を上回った。DIが前月を下回った業種はなかった。

DIは「51.4」(+11.9)と、3か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「44.7」(+10.5)と、2か月ぶりに前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）D I

	7年								8年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北現状	42.7	45.8	48.6	48.7	44.5	45.6	44.9	45.6	44.6	47.3	40.8	39.3	39.7	41.2
家計動向関連	43.8	45.6	48.7	48.3	43.4	44.8	46.2	46.7	46.0	47.5	41.7	39.3	40.8	40.4
企業動向関連	42.1	47.4	48.7	51.9	46.6	48.0	43.6	44.6	42.1	46.6	39.9	39.2	39.5	46.6
雇用関連(参考)	37.5	44.4	47.2	44.7	47.4	46.1	39.5	40.3	40.8	47.4	36.1	38.9	32.9	35.5

（２）先行き判断D I

	7年								8年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北先行き	45.8	46.1	48.6	46.9	47.3	50.0	47.2	47.7	51.4	51.6	38.7	38.4	39.7	46.6
家計動向関連	45.9	45.3	47.9	46.8	46.4	51.2	47.7	47.1	51.7	51.5	40.0	38.7	40.6	45.4
企業動向関連	45.4	46.7	50.6	50.6	53.4	48.0	44.9	50.7	53.3	52.0	36.5	37.8	39.5	51.4
雇用関連(参考)	45.8	50.0	48.6	39.5	40.8	46.1	48.7	45.8	46.1	51.3	34.7	37.5	34.2	44.7

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和8年6月25日～30日

回答者数 176/189 名、回答率 93.1%（全国 1,797/2,050 名、87.7%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：木村 和也）
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10
TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（一般小売店[寝具]）…ナフサ不足の影響による原材料価格の値上がりを前に駆け込み需要が発生しており、カーテンの注文が多くなっている。

（コンビニ）…来客数の微減を単価がカバーしている。販売量も前年並みに回復している。自治体などが発行しているプレミアム付商品券の影響とみている。

（衣料品専門店）…物価対策として低単価商品を充実させた結果、客単価が上昇している。

（旅行代理店）…自治体が発行している宿泊クーポンが好調である。クーポンの消化率も高く、県内の宿泊者数は増加している。一方、クーポンの適用対象が指定の宿泊予約サイトからの予約に限定されていることから、宿泊施設への直接予約と比べて利益率の低下が懸念される。来客数の動きだけをみると、やや良くなっている。

（通信会社）…春からサービスエリア拡大のための設備投資を始めている。工事完了区域から順次営業活動を行っており、新規加入者数は順調に伸びている。高齢者は放送サービス、若年層はインターネットサービスへの加入が多くなっている。

（農林水産業）…さくらんぼ、桃の販売が始まり、顧客の需要が高まってきている。

（輸送用機械器具製造業）…半導体関連の動きが活発となっており、全体的に受注売上が伸びている。

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…売上をけん引しているのは値頃感のあるレギュラー商品である。

○「変わらない」

（百貨店）…営業施策の刺激に対する反応は鈍く、販売量は多少増えるものの継続的ではない。特にファッション領域ではセール前の慎重な購買行動がみられる。

（乗用車販売店）…顧客の主な来店目的は点検・整備入庫であるが、来客数は3か月前比85%となっている。

（美容室）…来客数は前年比95%で、過去1年の平均値となっている。物価上昇が消費を抑え込んでおり、売上増加に結び付いていない。

（住宅販売会社）…住宅に関しては下がり基調だが、非住宅案件は増加している。総合的にみるとほぼ変わらない。

（その他住宅[リフォーム]）…リフォーム工事では、中東情勢の影響により原材料や資材の価格高騰の影響が出ており、工事完了の遅れや先送りも発生している。エアコンの交換は、2027年からの新たな省エネ基準導入を前に増加が続いている。

（電気機械器具製造業）…受注量に大きな変動はない。ただし、メモリなどの部材供給に遅延が発生しており、先行き不透明な部分もある。

（広告代理店）…顧客の発注数は例年並みで、大きな変化はない。

（人材派遣会社）…採用者数は、全国的にも前年比でも低調である。人手不足を補うための採用は大手企業を中心に減少している。人員の減少分について全てを補充するという考え方が見直されつつあり、業務の効率化やITツールの導入などで対応する動きが広がっている。その結果、採用要件が厳しくなっており、従来であれば採用されていた人材が採用に至らないケースもみられる。

（求人情報誌製作会社）…求人以外の広告を出稿する企業数が減り続けている。その背景には原材料価格の高騰や人件費の増加に伴う広告予算の削減がある。広告出稿が増えない限り、地域全体の景気が上向いているとはいえない。

○「やや悪くなっている」

- (商店街) …物価高が続いており、生活必需品以外の買い控えなど消費者の節約志向がうかがえる。
- (スーパー) …以前は物価高でも催事やイベントでは客単価が上がっていたが、少しずつ客単価が落ちている。
- (一般レストラン) …3か月前の来客数は前年比98%だったが、今月は95%を切っている。今月は連休がない分、平日のランチ、ディナーは数字をかなり落としている。
- (都市型ホテル) …国内旅行客が減少している。
- (遊園地) …学校団体は堅調だが、天候不順や節約志向等の要因により一般客が伸びず、来客数は前年を下回っている。
- (ゴルフ場) …前年と比較して、リピート回数が鈍化している。
- (その他サービス[自動車整備業]) …客先の資金の都合や商材の入荷遅れにより、販売量が減っている。シンナーなどナフサ由来の資材は入荷のめどが立たず、塗装などの工事受注がストップしている。潤滑油や作動油も入荷のめどが立たないため、オイル交換などの作業ができず、客先の稼働にも影響を与えている。
- (食料品製造業) …お中元ギフトは順調に推移しているが、駅構内店舗の土産需要は厳しい。物価高の影響が大きい。
- (木材木製品製造業) …受注量は前年と比較して低調のまま推移している。中東情勢による混乱は落ち着く方向に向かっているが、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁し切れていないため、板挟みの状態で、利益率が低下している。
- (輸送業) …取扱貨物の荷動きの鈍化が続くなか、荷主との運賃等の値上げ交渉は進捗している。一方、人件費や燃料、車両、タイヤ等の価格上昇に伴うコスト負担の増加に、値上げが追い付いていない。
- (職業安定所) …新規求人数が減少している。中東情勢に端を発する資材の価格高騰や不足といった影響が各方面に及んでいる。製造業ではAI関連での半導体需要を背景に、電子部品製造などで増加している。

○「悪くなっている」

- (家電量販店) …梅雨入りしたため、湿度だけが高く、最高気温、最低気温共に低い日が続いているため、例年この時期に売上構成比が高い夏物商材の販売量が減っている。サッカーワールドカップの需要も思ったほど伸びておらず、景気は悪い。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

- (商店街) …8月は夏祭りの開催に伴い、多くの来街者でにぎわう。地域経済への大きな波及効果が期待される。
- (都市型ホテル) …夏休み、お盆休み等の先行予約が好調である。
- (農林水産業) …桃が本番の時期を迎える。出来が良いため、売行きも期待できる。

○「やや良くなる」

- (一般小売店[医薬品]) …夏は例年良くなる。買い控えはみられるものの、物価上昇に伴い売上は多少増加する。前年実績は上回るとみている。
- (スーパー) …自治体発行の商品券の配付が始まっている。配付率の上昇に伴い可処分所得が増加するとみている。
- (家電量販店) …例年どおり8月に梅雨が明け、気温の高い日が続けば、エアコンを始めとする夏物商材が全体の販売量をけん引する。更に暑くなれば、販売量だけでなく売上単価の上昇も見込める。ただし、

短期間で販売量が伸びた場合、工事業者による取付けまでに時間を要し、キャンセルが発生するおそれがある。また、部材供給の遅れにより部材不足が生じる可能性もある。

(乗用車販売店) …軽自動車の一部車種が販売再開になるため、販売量が多少伸びるとみている。

(その他企業[協同組合]) …中東の海峡封鎖の緩和により、原油の調達環境の改善が見込まれることから、先行きの不透明感は解消に向かうとの期待がある。また、半導体やAI関連分野の好調は、他の業界にも明るさをもたらす。

(人材派遣会社) …求職者数に一定の下げ止まり感があり、登録予約数も前年比プラスの傾向が続いているため、一時的に好転するとみている。

○「変わらない」

(百貨店) …夏のセール、ギフトはアパレル商品の減少や高齢化による儀礼ギフトニーズの減少などにより、販売量、売上共に減少するとみている。その減少をジュエリーや時計など高額商品の好調領域がカバーする構図は変わらない。

(衣料品専門店) …節約志向が高まっている。商品購入の優先度から見て、趣味嗜好に関する商品は買い控えの対象になっている。

(一般レストラン) …客は事前に予定を立てるのではなく、当日になって外食を決めて来店するようになっている。そのため、店が混み合う日もあるが、それは直前にならないと分からない。今後も同様の状況が続くとみている。

(その他住宅[リフォーム]) …中東情勢の影響による原材料、資材の価格高騰及び供給調整は続く。また、2027年からの新たな省エネ基準導入を前に、エアコン交換も続くとみている。

(木材木製品製造業) …値上げを受け入れてもらえることが多くなっている。このまま価格転嫁が進めば利益率の改善が見込めるが、もう少し時間が掛かるとみている。

(一般機械器具製造業) …引き合いは増えているが、多くの部資材が想定以上に値上がりしており、実行するかは不透明である。

(輸送業) …中東情勢がサプライチェーンに及ぼした影響の回復には、一定の期間を要するとみている。また、当社においては、取引の多い工場が今月末を持って大幅に縮小することが決定している。今後は、海運、倉庫を始め各事業の収入に影響が出てくる見通しである。

(通信業) …新機種の発売により一定の受注は見込めるものの、物価高の影響により例年を下回る見込みである。

(金融業) …取引先の状況をみると、中東情勢は予断を許さないものの、一時期と比べて先行きの不透明感は弱まっている。また、政策金利の引上げについては多くの企業で織り込み済みであり、経営者のマインドも悪化傾向から改善しつつある。今後2～3か月では景気を悪くするような材料は特に見当たらず、現状維持とみている。

(職業安定所) …物価高などを背景に65歳以上の高齢求職者が多くなっているが、マッチングが進まず求職活動が長期化しており、有効求職者数は13か月連続で増加している。小規模事業所の閉鎖も散見され、求人倍率の低下傾向は続くとみられる。

○「やや悪くなる」

(新聞社[求人広告]) …物価上昇の先行きが見通せない。景気が良いのは大手企業だけであり、中小企業との業績格差が広がっている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上